



用賀中だより

学校だより 9月号
令和8年9月吉日
ようがの学び舎
世田谷区立用賀中学校

「いい顔」で、自分のよさを発揮する二学期に

ようがの学び舎 世田谷区立用賀中学校 校長 毛利 慎治

長い夏休みが終わり、学校に生徒たちの声と笑顔が戻ってきました。始業式の日、生徒一人一人の元気な姿を見ることができることを、何よりもうれしく思います。

夏休みは、普段の学校生活とは異なる経験ができる貴重な時間です。楽しかったこと、頑張ったこと、思うようにいかなかったことも含め、生徒たちはそれぞれの経験を通して、少しずつ成長してきたことと思います。

一学期の終業式では、生徒たちに「誰かのために行動することのすばらしさ」について話しました。夏休み中も、多くの生徒がさまざまなボランティア活動に参加しました。その姿に対して、関係する方々から温かな評価の言葉をいただいています。誰かのために行動することは、相手を支え、喜ばせるだけではありません。「ありがとう」「助かったよ」という言葉は、行動した本人にも喜びや充実感をもたらします。誰かのために一歩を踏み出した経験は、生徒自身の成長につながり、自然とその表情を輝かせてくれるものです。

この夏、もう一つ、私の心に強く残った言葉があります。第108回全国高等学校野球選手権大会の開会式で選手宣誓を務めた、西東京代表・八王子実践高等学校の矢沢陵磨主将の言葉です。

「高校球児は、良い顔をして野球をしよう」

この「いい顔」とは、笑顔だけを指すものではないと私は考えています。目標に向かって努力する真剣な顔、失敗しても再び立ち上がろうとする顔、仲間を励ます顔、誰かのために行動している顔も、すべて「いい顔」です。

表情と心の関係については、心理学の研究もあります。19か国、3,878人が参加した国際共同研究では、意識的に笑顔をつくるのが、幸福感をわずかに高める可能性が確認されています。また、自然な対面での会話では、人は相手の笑顔の約7割から8割に対して、笑顔を返すという研究も報告されています。表情は、自分の心の状態が表れたものであると同時に、自分自身の気持ちや周囲の人の受け止め方にも働きかけます。一人の「いい顔」が、周囲の人の「いい顔」を引き出すこともあるのです。

ただし、いつでも「いい顔」でいられるわけではありません。不安なとき、疲れているとき、失敗して落ち込んでいるとき、心が傷ついているときには、無理に笑顔をつくる必要はありません。

そのようなときこそ、周囲の大人や仲間が、普段とは異なる表情や小さな変化に気付くことが大切です。本校が大切にしている「人の心の痛みがわかる人間になろう」という言葉は、相手の表情の奥にある思いを想像し、必要なときに声をかけ、支えようとすることでもあります。

二学期には、修学旅行、河口湖移動教室、職場体験、世田谷区の中学校陸上競技大会、合唱コンクールなど、さまざまな教育活動が予定されています。これらは、生徒一人一人が自分のよさを発揮し、仲間と力を合わせて成長するための大切な機会です。

集団を率いる力、仲間を支える力、計画を立てて実行する力、人の話を丁寧に聞く力、最後まで粘り強く取り組む力など、生徒のよさの表れ方は一人一人異なります。結果だけに目を向けるのではなく、それぞれの生徒が自分の力をどのように生かし、仲間や周囲の人のために行動できたかを大切にしていきます。こうした経験を積み重ねる中で、生徒が自分のよさや頑張りにつづき、「自分にはこんな力がある」と自分自身を認められるようになることを願っています。

これは、本校がめざす「生徒が主人公である学校」や、自尊感情・自己肯定感を高め、「自分のよさ」を発揮できる学校づくりにもつながるものです。

生徒の行動が誰かを笑顔にし、その笑顔が別の誰かに伝わっていく。そのような温かなつながりのある二学期を、生徒、教職員、保護者、地域の皆様と共につくってまいります。「いい顔は、一人で作るものではない。みんなでつくるもの。」

二学期も、本校の教育活動への御理解と御協力を、よろしくお願いいたします。

男子テニス部

世田谷区立秋季新人テニス大会

【シングルス】山口 諒晟 **優勝**

【ダブルス】 山口 諒晟・飯田 祥吾 **4位**

都大会へ
出場決定!!

陸上部

【1年女子リレー】 佐野 悠夏・開発 えりい・小田切 優奈・松崎 瑛里奈 **1位**

【1年男子リレー】 永喜 巧真・窪内 新太・山下 栗生・守 悠悟 **5位**

【1年男子100】 窪内 新太 **4位**

【共通女子800】 松崎 瑛里奈 **3位**

【共通女子200】 森脇 亜海 **5位** 開発 えりい **8位**

【共通女子100】 水野 紅葉 **4位** 熊澤 美織 **6位**

【共通男子400】 千田 寛大 **5位**

【共通男子1500】 大場 喜八 **7位**

【共通男子砲丸投】 土屋 健太郎 **2位** 塚原 理仁 **6位**

【共通女子砲丸投】 久米 紡生 **6位** 石井 なち **7位**

【共通女子高跳】 石井 晴 **7位**



サッカー部

世田谷区民スポーツ大会 サッカー大会中学生の部 **優勝**

女子バレー部

令和8年度 世田谷南地区ルーキーズカップ 檜崎 悠 **優秀選手賞**

吹奏楽部

東京都中学生吹奏楽コンクール **銅賞**

夏休み中も用賀中の生徒は大活躍です！

8月21・22日は「やぐらまつり」、30日は「京西小夏まつり」に参加しました！

用賀小学校の校庭で行われた、上用賀納涼盆踊り大会（やぐらまつり）に、たくさんの生徒がボランティアとして参加しました。児童館担当、飲み物担当、ゲーム担当（輪投げや缶倒し）と分かれて頑張りました。22日（土）は豪雨に見舞われ、残念ながら19時半で中止になってしまいましたが、用賀中の生徒は評判が良く、とてもよく働いてくれたと聞いています。また、夏休み最後の日曜日の京西小夏まつりでも生徒が手伝いに行きました。これからも地域の方々と一緒に何かをやり遂げることの喜びや楽しさを学んでほしいです。

8月27日（木）世田谷区立中学校「ビブリオバトル」に参加しました！

世田谷区立中学校の各校の代表がおすすめする本について5分間熱弁を振るう「ビブリオバトル」に2名の生徒が参加しました。3Bト部凜さんは、朝井リョウの「武道館」を、3Bの川島莉子さんは、凧良ゆうの「流浪の月」を紹介し、本の魅力をたっぷりと伝えることができました。ビブリオバトルを通して、読書の面白さを共有できたことは、読書好きにはたまらない時間になったことでしょう。

8月27日（木）世田谷区立中学校音楽発表会に吹奏楽部が参加しました！

吹奏楽部はこの夏、大忙しでした。7月の吹奏楽コンクールで銅賞を取ったあとは、世田谷区立中学校音楽発表会に参加しました。曲は「新宝島」と「SING, SING, SING」です。

「それゆけ！アンパンマン」シリーズの音楽を担当している作曲家で編曲家の近藤浩章先生から講評をいただきました。講評は以下のとおりです。

「爆発的な音の乱舞とは裏腹なちょっとしたストイックな部分が垣間見えた時、サカナクション山口氏の新宝島にも同様なことがあったように思えた。そこを巧みに表現しようとした指導者は評価したいと思う。楽曲は当曲のもつ魅力以上に魅力的だった・・・。SingSingSingが聴こえてきた。これまた想像を大きく裏切る音作りに思えて心を揺さぶられた。音楽とはかくべきあるかというか改めて自分自身にも問いかけることができた時間となった。感謝！」

2年B組の岡田めぐみさんが広島で平和学習を！

世田谷区中学生平和学習広島派遣事業に用賀中学校の代表として参加することになった岡田さんは、1学期の終業式で、広島で学ぶ決意を全校生徒の前で発表しました。彼女の思いがとても伝わってきて、全員が考えさせられる瞬間だったと思います。2学期には実体験を話してもらう予定です。以下は彼女の発表文です。

「私は、世田谷区内の中学2年生が参加する、世田谷区中学生平和学習広島派遣事業へ8/5～8/7までの三日間で参加します。そこでは、世田谷区内の中学生が平和についての事前学習や、ワークショップを行います。8/5～8/7の間で実際に広島に行き、被爆者の方のお話を聞いたり、見学をしたり、全国の中学生とディスカッションを行います。7/11には1回目の事前学習を行いました。世田谷公園というところで一緒に広島に行く仲間と平和についてのワークショップや、世田谷公園内の平和に関するモニュメントを探しながら散策、意見共有を行いました。このように、新たな交友関係を広げ、意見を共有し合うなど自分の中の考えを様々な広島で実際の体験談を聞きながら新しい学びを増やしていきたいと思っています。」